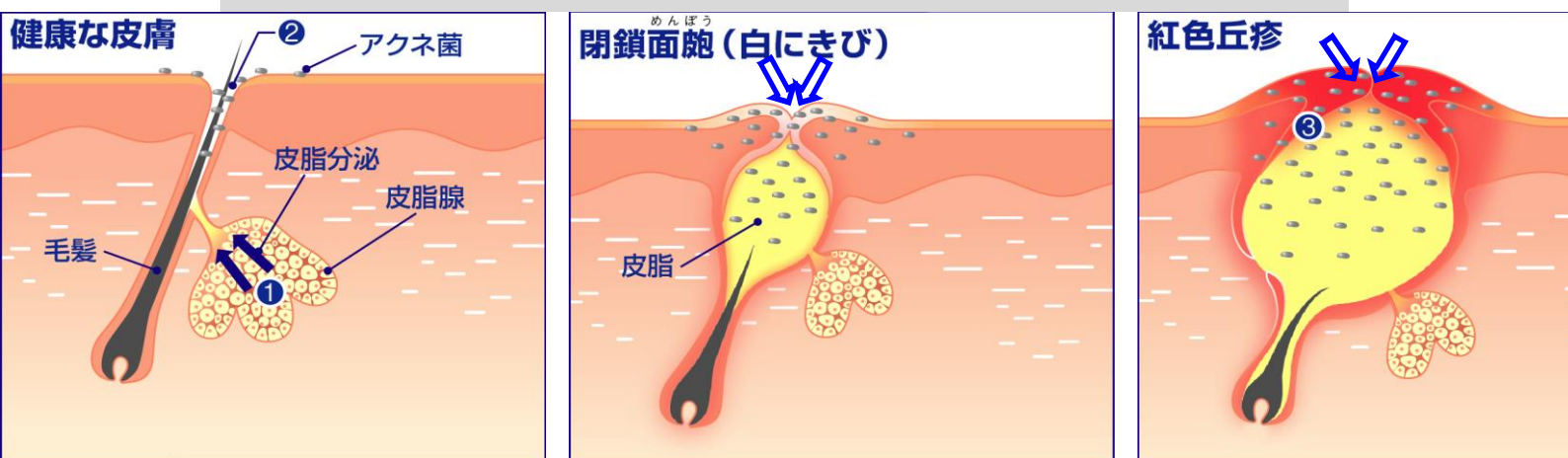


大曲皮膚科ニュース


2006年4月20日号

ニキビにピーリングが効く理由とは？



図の無断転用を禁じる (ガルデルマ社提供)


ピーリングは、まだ健康保険は効きませんが、日本皮膚科学会がニキビに高い適応があると認めた治療法で、ヒフに、ピーリング剤と呼ばれる酸を塗って、化学的にその浅層だけを溶かすものです。また、軽症から重症まで、どんなニキビにもお薦め出来る方法です。では、なぜニキビにピーリングが効くのでしょうか？

ヒフのもっとも表面には、外界からの刺激から守るための角層があり、正常な角層は古くなると垢として剥がれますが、ニキビの人の毛穴の角層（図の ）は、剥がれずに厚くなり、ついには毛穴の出口を塞いでしまいます（白ニキビ）。この原因は、男性ホルモンなどが考えられていますが、はっきり分かっていません。

毛は死んだ細胞で出来ているので、乾燥して痛みやすいのです。毛は一部ヒフの中に埋まっていますが、この埋まった部分の周りにあぶら（皮脂）が分泌され、毛を乾燥から守ります。特に、思春期は皮脂の分泌が盛んで

す(①)。毛穴の中にはニキビ菌(アクネ菌)というばい菌が住んでおり、皮脂を食べて生きています。毛穴の出口が塞がれた白ニキビは、毛のまわりに大量に白い色の皮脂が溜まり、透けて見えるために白く見えるのです。白ニキビは、放っておくと、皮脂を食べたニキビ菌が増えるために、いずれ赤く痛い、盛り上がったニキビになります(③)。

ピーリングは、毛穴を塞いだ角層をとかして、奥にたまっている皮脂を追い出します。えさがなくなったニキビ菌が増えることが出来なくなるために効くのです。白ニキビでも、赤いニキビになってしまっても、毛穴を塞いだ角層

(図の ) を取ることは有効ですので、どの段階のニキビにもよく効くのです。

★サリチル酸マクロゴールピーリングとは?★

日本の皮膚科で最も使用されるピーリング剤はグリコール酸ですが、酸をつけた時に痛みや赤みが出たり、そのあとふけのようなかさかさが出る事が多いことが欠点です。つまり、角層細胞を溶かしてくれるのですが、その反面ヒフの深部までしみていくので、刺激を与えられたヒフは角層細胞を新たに作り出すために、効き目が短く2週間に1度行う必要があります。

最近、新しいピーリング剤として、サリチル酸マクロゴールが注目されています。サリチル酸は、マクロゴールという軟こうに溶かすとヒフの角質に留まり、深部にしみていくことがない性質を持つため、刺激が少ないので痛みや赤みが少ないです。そのため、アトピー患者さんなどの刺激に弱いヒフをお持ちの方が、グリコール酸ピーリングは痛くて続けられなかった場合でも、サリチル酸マクロゴールなら、しっしんの症状が落ち着いているときなら問題なく出来ることが多いです。

1ヶ月に1回くりかえして3-5回で新しいニキビはほとんど出なくなることが多いです。症状に応じて、サリチル酸以外のピーリング剤を選んだり、複数のピーリング剤を使うこともありますので御相談ください。

☆実際のニキビの治療は?☆

ニキビの重症度によって、治療内容が異なります。

1) 白ニキビなどの、赤くなる前のニキビ

ピーリングがよく効きます。家では、ピーリング剤入りの石鹸・化粧水をつかうことが薦められます。

2) 小さめの赤いニキビ・膿のたまったニキビ
ニキビ菌に対して有効な抗生物質の付け薬単独か、ピーリングとの併用がよく効きます。

3) 大きく赤いニキビ・膿のたまったニキビ
ニキビ菌に対して有効な抗生物質の飲み薬単独か、ピーリングとの併用がよく効きます。

一旦赤くなってしまったニキビは、色が付いたり、ヒフに窪みができるなど、痕が残ることがありますので、赤くなる前に治療することが薦められます。

大曲皮膚科 住所：〒061-1272 北広島市大曲末広 1 丁目 2-1 (セリオ 1F) 電話：011-376-2000 記：院長 梅津 修

